

◆ 姫路市立神南中学校でバリアフリー教室を開催しました

神戸運輸監理部交通環境室では、高齢者や障がい者の疑似体験や介助体験を通じて、バリアフリーへの理解を深めるとともに、誰もが「お手伝いしましょうか」と自然に声をかけてサポートできる「心のバリアフリー」を推進するため、兵庫県内各地で「バリアフリー教室」を開催しています。

今回は、姫路市立神南中学校において、10月5日にバリアフリーについての事前学習、10月19日に体験型バリアフリー教室を行いました。

事前学習では、バリアフリー教室当日に向けて「心のバリアフリーとは何か?」「どのようなところにバリアがあるのか?」という部分を中心に学習しました。ひとりひとりが真剣なまなざしで授業を聞いていたことが印象に残っています。



事前学習の様子

バリアフリー教室当日は車いす体験、ノンステップバスの乗降体験や視覚障がい・介助体験など行いました。

車いす体験では、監理部のスタッフが操作方法や声かけの重要性を説明した後、生徒が2人1組となり、実際に車いすに乗って、自走体験と介助体験を行いました。少しの段差でも自力で越える難しさを体験した後、ペアの介助を受けて大きな段差を越えていく経験をしました。車いすに乗っている方々が日常生活を送る上での介助の必要性をしっかりと理解することができたと思います。



車いす体験の様子

バス乗降体験では、神姫バス株式会社のスタッフが講師となり、ニーリング（乗降時に車高を下げる装置）や車いす用スロープの架設の説明をした後、車いす利用者を介助しながら乗車させて、車内で固定するまでの一連の流れを実演するとともに、生徒にも乗降と介助をそれぞれ体験してもらいました。併せて、バス車内のさまざまな設備がどんな人にも利用しやすいように配慮されていることの説明を行いました。監理部のスタッフからは、バスが環境にやさしい乗り物であることを説明し、弱視体験では、ロービジョン眼鏡を着用し、色使いによる見やすさ、見づらさを体感してもらいました。



バス乗降体験・弱視体験の様子

視覚障がい・介助体験では、社会福祉法人 姫路市社会福祉協議会のスタッフが講師となり、アイマスクと白杖を用いて、点字ブロックの有無による歩行しやすさの違いを体験することで、点字ブロックの有用性を実感してもらいました。階段を昇降する体験では、思っていたよりも怖いという声が多く聞こえ、介助時の声掛けの重要性を学べたと思います。



視覚障がい・介助体験の様子

最後に、神姫バス株式会社と社会福祉法人 姫路市社会福祉協議会から講評を頂き、生徒からは「実際に街に出たときには積極的に介助していきたい」などの感想が聞かれました。本教室で、障がい者・高齢者の気持ちを理解するとともに適切な介助方法を学ぶことで、手助けしようという気持ちを持ってもらうことができたように思います。今後も、様々な取り組みにより「心のバリアフリー」の推進を図っていきます。

（企画推進本部 交通環境室）